

進路指導室から 第401号

はじめに

11月も終わりに近づいています。今年もあと1か月あまりになりました。来月1日（木）から第3回考査が始まります。考査が近づいていますが、余裕をもって計画をたて、時間をしっかり管理しながら学習に取り組んで欲しいと思っています。

「模擬試験の見直し」について

1・2年生は、10月に「第2回駿台全国模試」、11月に「ベネッセ総合学力テスト・11月」を受験しました。模擬試験については、見直しが非常に重要です。その際には、最初から解答を見て見直しを始めるのではなく、まずは手をつけられなかった問題や解き終わらなかった問題を解くことから始めてください。そして、解説を参考にしながら、分からなかったところやあやふやだったところを確認します。一般に、模擬試験の見直しは最低3回行う必要があると言われていています。1回目は模擬試験を受験した当日、2回目は1週間後、3回目は1か月後です。また、可能ならば、「模試ノート」を作成して模擬試験を通して学んだ内容を蓄積することは、後々大きな財産になります。進路指導部には、先輩たちが残してくれた「模試ノート」があります。関心がある人は進路指導部まで問い合わせてください。

「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 問題作成方針および試作問題の分析」について

前号の「第400号」で、大学入試センターから公表された「令和7年度大学入学共通テストに係る出題の方向性と試作問題」に係る今後の学習のポイントについて触れました。今回は、ベネッセコーポレーションによる「問題作成方針および試作問題の分析」の資料にもとづき、「出題教科・科目等の検討状況の着目ポイント」と「教科・科目別サマリ」を中心にまとめています。

■ 出題教科・科目等の検討状況の着目ポイント

	出題教科・科目	着目ポイント・論点																		
国語		出題範囲が必履修科目「現代の国語」「言語文化」に「近代以降の文章」の大問数が増え、全体で5大問に																		
数学	① 「数学Ⅰ」 ② 「数学Ⅰ・数学A」 ③ 「数学Ⅱ・数学B」	数学Ⅱ・数学Bに加え、数学Cがセットに 文系の生徒にも「数学C」の履修が必要か ・ 「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）に対応した出題となり、このうち3項目の内容の問題を選択するようになる <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>数学Ⅱ</th> <th>数学B</th> <th>数学C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① いろいろな式</td> <td>① 数列</td> <td>① ベクトル</td> </tr> <tr> <td>② 図形と方程式</td> <td>② 統計的な推測</td> <td>② 平面上の曲線と複素数平面</td> </tr> <tr> <td>③ 指数関数・対数関数</td> <td>③ 数学と社会生活</td> <td>③ 数学的な表現の工夫</td> </tr> <tr> <td>④ 三角関数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 微分・積分の考え</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 「数学C」には、「ベクトル」（現行では数学B）と「平面上の曲線と複素数平面」（現行では数学Ⅲ）が入る	数学Ⅱ	数学B	数学C	① いろいろな式	① 数列	① ベクトル	② 図形と方程式	② 統計的な推測	② 平面上の曲線と複素数平面	③ 指数関数・対数関数	③ 数学と社会生活	③ 数学的な表現の工夫	④ 三角関数			⑤ 微分・積分の考え		
数学Ⅱ	数学B	数学C																		
① いろいろな式	① 数列	① ベクトル																		
② 図形と方程式	② 統計的な推測	② 平面上の曲線と複素数平面																		
③ 指数関数・対数関数	③ 数学と社会生活	③ 数学的な表現の工夫																		
④ 三角関数																				
⑤ 微分・積分の考え																				
地理 歴史 公民	① 「地理総合、地理探究」 ② 「歴史総合、日本史探究」 ③ 「歴史総合、世界史探究」 ④ 「公共、倫理」 ⑤ 「公共、政治・経済」 ⑥ 「地理総合、歴史総合、公共」	地歴・公民は6科目から最大2科目選択 必履修科目3科目の⑥が新設のため注目 ・ 「地歴・公民」は、「必履修3科目」や「必履修+選択」を組み合わせた6科目（最大2科目の内容を選択） ・ 必履修科目のみの⑥「地理総合、歴史総合、公共」という組み合わせが新設。3科目から2科目選択 （例）⑥で歴史総合を選択したら、2科目目として②③は受験できない																		
情報	「情報Ⅰ」	出題範囲は、共通必履修科目の「情報Ⅰ」 『情報Ⅰ』と『旧情報（仮）』（既卒生向け）に共通問題を設定																		

■ 問題作成方針 教科・科目別サマリ

教科・科目	サマリ
国語	<ul style="list-style-type: none"> 試験時間は90分、200点満点で実施され、「現代の国語」「言語文化」を出題範囲として、近代以降の文章（論理的な文章や実用的な文章、文学的な文章）及び古典（古文、漢文）が出題される 大問数が4大問から5大問に増え、各大問の配点も変更。近代以降の文章が3問110点、古典が2問90点

	<p><u>(古文45点、漢文45点)になる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな大問が追加され、より多様な文章が扱われることで、多様な資質・能力が問題全体を通じて評価される。また、大問では、それぞれの題材の意義や特質を一層生かした出題となるよう工夫される
地理総合、地理探究 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 公共、倫理 公共、政治・経済	<ul style="list-style-type: none"> 必履修科目と、その履修後に学習する選択科目を総合した範囲から出題する それぞれの科目で育成することとされている資質・能力を重視した出題とする
地理総合、歴史総合、 公 共	<ul style="list-style-type: none"> 地理歴史科、公民科の必履修科目である3科目に対応した三つを出題範囲として出題する（受験者は、そのうち二つを選択解答する） それぞれの科目で育成することとされている資質・能力を重視した出題とする
数 学	<ul style="list-style-type: none"> 数学ⅠA、数学ⅡBCともに、これまでの共通テスト同様、<u>「数学的な課題解決の過程」を重視しつつ、新学習指導要領で育成されることとされている資質・能力を問われる。</u>そのため現実事象を題材とした文章から情報を整理し、数式化して解決する問題や、教科書では扱われていない定理等を既知の知識を活用して導く問題などの出題が今後も予想される
物理基礎、化学基礎 生物基礎 地学基礎	<ul style="list-style-type: none"> <u>日常生活や社会との関連</u>を考慮し、科学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則などの理解と、それらを活用して<u>科学的に探究を進める過程</u>についての理解など <u>新学習指導要領</u>に示されている、各科目で育成することとされている資質・能力
物 理 化 学 生 物 地 学	<ul style="list-style-type: none"> <u>科学の基本的な概念や原理・法則に関する深い理解を基に、基礎を付した科目との関連を考慮しながら、自然の事物・現象の中から本質的な情報を見いだしたり、課題の解決に向けて主体的に考察・推論したりするなど、科学的に探究する課程</u> 新学習指導要領に示されている、各科目で育成することとされている資質・能力
英 語 (リーディング)	<ul style="list-style-type: none"> 配点、実施時間は変更なし。実際のコミュニケーションの場面を意識した、多岐にわたるジャンル・形式の出題で、概要の把握から複数の情報の整理・比較・判断まで多面的な資質・能力が求められる点でも大きな変更はないが、<u>一部、「論理・表現」でも求められるライティングスキルの素養を、リーディング形式の問題を通して試すような出題を行おうと考えているようである</u>
英 語 (リスニング)	<ul style="list-style-type: none"> 配点、実施時間は変更なし。日常的な発話から説明文や複数の話者による会話まで、多岐にわたるジャンル・形式で、概要の把握から複数の情報の整理・比較・判断まで多面的な資質・能力が求められる点でも<u>現課程と大きな変更はないが、複数の領域を統合した言語活動を意識した問題も出題しようと考えているようである</u>
情 報 I	<ul style="list-style-type: none"> 全問必答の4大問構成。前回発表のサンプル問題（令和3年3月24日公表）からは1大問増加し、初めて配点が示された。情報Ⅰの4領域（情報社会の問題解決、コミュニケーションと情報デザイン、コンピュータとプログラミング、情報通信ネットワークとデータの活用）が満遍なく出題されていた
旧 情 報	<ul style="list-style-type: none"> 必答2問。選択4問（うち2問解答）の計6大問構成。「社会と情報」および「情報の科学」の履修に応じて選択解答することが可能。<u>第1問の一部、第2問、第5問は「情報Ⅰ」との共通問題であった。</u>なお、受験者数が1万人未満でも「情報Ⅰ」と得点調整の対象となることが発表された

■ 試験時間割のイメージ

1 日 目		2 日 目	
2科目受験 9:30～11:40	地履歴史 公 民	2科目受験 9:30～11:40	理 科
1科目受験 10:40～11:40		1科目受験 10:40～11:40	
13:00～14:30	国 語	13:00～14:10	数 学 ①
15:20～16:40	外国語（リーディング）	15:00～16:10	数 学 ②
17:20～18:20	外国語（リスニング）	17:00～18:00	情 報

「第4回保護者対象進路研修会」について（再掲）

以下にて、「第4回保護者対象進路研修会」を行います。講師が決まりましたのでお伝えします。

日 時	令和4年12月3日（土） 14:00～15:30
場 所	本校視聴覚教室
内 容	「2023年度入試について」
講 師	駿台予備学校 広島校 校舎責任者 池浦 和彦 様

終わりに

子どもの頃、この時期には「しもやけ（凍瘡）」で苦労した思い出があります。大きくなると体質が変わったのか、あまり「しもやけ（凍瘡）」に罹ることが少なくなりました。「しもやけ（凍瘡）」は寒い環境下に長くいることで体の末端の血流が悪くなり罹ると言われています。罹ってしまうと集中力の維持にも影響します。気をつけたいものです。